



大分市議会議員 **たかの博幸** ひろゆき

2024.1
No.71

市政れぽーと

連絡先／大分市田尻南2丁目3番17号 TEL 586-1156 FAX 586-1186
E-mail : takano.hiroyuki.0425@gmail.com

市民の声をしっかりと聴いて 市民ニーズに応えていきます

2024年、新しい年を迎えました。

昨年も市民の方から道路の整備や有害鳥獣の駆除、子育てに関する事等、多くの意見や要望をいただきました。解決できたもの、できなかったものもありましたが、本年もしっかりと市民の皆さまの声をしっかりと聴いて、新たな気持ちで皆さまのお役に立てるようにがんばります。

さて、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進む中で、依然として物価高騰の影響等が続いていることから、景気の先行きには注視が必要であり、大分市の今後の財政状況も、決して楽観視できない見通しとなっています。また、社会保障関係費や老朽化が進む公共施設の維持管理及び更新経費等の増加に加え、引き続き物価高騰対策に取り組む必要があることなどから更なる厳しい財政運営を強いられることが予想されます。

一方で、価値観や生活様式の多様化、グローバル化やデジタル化の進展など、社会経済情勢が大きく変化する中、複雑・多様化する市民ニーズに的確に応えていくとともに、地域経済を下支えすることも求められており、これまで以上に事務事業の取捨選択を行いながら、様々な課題の解決に向けて積極的に取り組んでいかなければなりません。そうしたことから、今後ますます地方議会の果たす役割や責務は重要になってきます。

だれもが住みなれた地域で、生きがいを持って安心して暮らせる社会をめざして取り組んでまいります。



11/6 市民意見交換会(穂田市民行政センター)

市政についてのご意見・ご相談はお気軽にどうぞ！

きずな

発行所・大分市議会・ネットワークみらい
住 所・大分市荷揚町2番31号

12月議会

11月30日～12月14日まで議会が開かれました。

今議会では、事業費の増や市職員・特別職・議員等の給与改定による補正予算と一般議案（下記）が承認されました。



12月議会

補正予算

一般会計 66億2100万円の補正予算

◎子ども医療費助成・・・5億4500万円（追加計上）

2022年10月開始した中学生までの医療費助成が増加し追加計上しました。
（1医療機関1回500円までの支払い等）

◎障がい児通所支援・・・7億7000万円（追加計上）

障がい児の学校・施設への通所支援をする事業費の増加による追加計上です。

◎私立保育所等給付費・・・11億2600万円（追加計上）

私立保育所等への給付費の増加による追加計上です。

◎小中学校光熱水費・・・・1億1600万円（追加計上）

市立小中学校の光熱水費の追加計上です。

◎指定管理業務委託料（4施設）・・・限度額22億1590万円

次の4施設に下記指定管理者を指定します。

◇ホルトホール大分・・・

共同事業体（日本管財(株) 他）

◇平和市民公園能楽堂・・・

共同事業体（テイクファイブ(株) 他）

◇アートプラザ・・・

共同事業体（コンベンションリンケージ(株) 他）

◇市営温水プール・・・

共同事業体（日本水泳振興会(株) 他）



能楽堂

◎退職手当・・・13億6700万円（追加計上）

定年前や早期退職者（約60名）の退職手当の追加計上です。

◎常勤職員等の給与改定に伴う調整・・・1億9200万円

市職員等の期末手当を0.05月引き上げ等の改定です。

一般議案

◎市荷揚複合公共施設条例の制定

荷揚町小学校跡地に建設中の複合公共施設が来年度から供用されることから、この施設に関する条例が制定されました。

この施設は、1,2階は府内こどもルーム、中央公民館、貸し館（コモンスペース）、3階は市の執務室、4階は消防司令室、5階は防災危機管理課、消防局、6階は会議室などになっています。

また、この施設に隣接して新たな駐車場（320台収容）も設置することから、市営駐車場条例の一部改正も行われました。



建設中の荷揚複合公共施設

◎「活き活きプラザ潮騒」の廃止

佐賀関の健康保持増進や浴場の機能のある「活き活きプラザ潮騒」が、利用者の減少などのため、廃止となります。今後は隣接する介護保険サービス事業所の利用ができます。



活き活きプラザ潮騒

◎公共下水事業から生じる脱水汚泥の処理に係る事務の委託

現在、大在水資源再生センター内に下水汚泥から固形燃料を製造する施設を建設中です。この固形燃料を火力発電の石炭の代替にすることで、二酸化炭素の削減を図ります。

この施設で行う下水汚泥処理について県内8自治体（別府市・佐伯市・臼杵市・津久見市・豊後高田市・杵築市・国東市・日出町）から委託を受けて処理業務を行います。

◎市職員定数条例の一部改正・・日勤救急隊の創設

救急車の出動が増加する中、出動の多い昼間に勤務する救急隊員を増員（9名）し、現場到着時間の短縮を図ります。

◎市の組織・機構改革

いくつかの市役所内の組織・機構改革が示されました。

◇「（仮称）脱炭素社会推進室」を環境対策課内に設置し脱炭素社会の実現に向けて取り組みます。

◇「（仮称）おおいた消防指令センター」を消防局に新設し、全県下の消防指令業務を一元化します。

◇「（仮称）水管理センター」を上下水道部浄水課内に設置し、これまで、機器運転管理と水質管理は別な担当だったのを統一し、緊急時の対応の強化を図ります。

意見書

今回採択された意見書はありません。

◎パレスチナ情勢に関する意見書〈我が会派から提出し不採択になった意見書〉

ハマス等には文民への攻撃や誘拐を非難し、イスラエルには十分な日数の停戦と人道回廊の確保を求め、停戦及び人道支援の実施に向け国際社会で日本政府がリードすることを求めるものです。

建設労働者・職人の賃金確保・労働条件改善に関する要請

12月18日（月）、大分市に対して「建設労働者・職人の賃金確保・労働条件改善に関する要請」行動に同席しました。建設業は他の産業に比べて賃金体系や労働時間、社会保障などの面で立ち遅れており、労働者の「建設業離れ」と「高齢化」が進行し、技術・技能の継承はもとより、産業としての持続的発展が危ぶまれる状況にあります。また、コロナ禍以降の建設資材の価格高騰や品薄などの影響も重なり、現場労働者の賃金・雇用環境は悪化しています。

建設業は、住まいと暮らしを守り、地域経済を支える基幹産業であると同時に、災害対応やインフラの整備・保全など、社会的にも重要な役割を担っており、建設業が衰退することは社会的な損失と言えます。

今後も引き続き、建設労働者の処遇改善、建設業の持続的発展に向けて取り組みます。



大分市に要請



大分市に要請書を手渡す

住宅団地の移動支援サービス実証実験



高齢化が進む住宅団地で、買い物や通院、路線バスの乗り継ぎなど、日常的な移動を支援するサービスの実証実験が富士見が丘団地で行われ、12月1日に乗車体験をしてきました。私の住む団地もスーパーがなくなり、特に移動手段がない人にとっては大変不便です。今回の実証実験をふまえて、早急な移動支援サービス実施に向けて働きかけます。

たかのっ走る

10月 2日 市議会議長会議員研修会 7日 故磯崎新氏追悼行事 19日 植田地区老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会 22日 田尻東ひまわりフェスタ 28日 市民意見交換会PR街頭ビラ配り	11月 12日 田尻GH連合自治会「ふれあいの集い」 おおいたNPO博 15~17日 まちづくり推進特別委員会視察 姫路市・ウォークブル 推進計画について 小松市・地域公共交通に関する 取り組みについて
11月 2日 大分分屯地における火薬庫等の整備に係る 住民説明会 3日 文化の日表彰式 6日 市民意見交換会（植田市民行政センター） 8日 市民意見交換会（野津原市民センター） 9日 植田地区老人クラブ連合会ベタンク大会	12月 1日 住宅団地における移動支援 サービス実証実験視察 3日 大分市消防団第4方面隊内点検 18日 建設労働者・職人の賃金確保・ 労働条件改善に関する要請